

日本海側におけるエネルギー供給体制の整備について

【担当省庁】経済産業省、資源エネルギー庁

1 広域パイプライン整備

国において検討が進められているガスパイプラインの整備方針に、日本海側の空白地帯をカバーし、京阪神地域のバックアップ等を担い、かつ、現在費用便益分析を行っていただいている4つのルートの一つである新潟～三田ルート(新潟～京都舞鶴～兵庫三田間)を整備ルートとして位置づけていただきたい。

ガスパイプラインの整備に当たっては、ガス事業者への制度的措置や公的支援のあり方について早急に策定していただきたい。

2 京都舞鶴港におけるLNG受入基地の整備

日本海側のハブとなる京都舞鶴港等におけるLNG受入基地の整備を促進していただきたい。

3 資源量把握調査の継続及び採掘技術の開発

日本海側に多く埋蔵するとされる表層型メタンハイドレートについて、商業生産の早期実現を図るため、資源量把握調査の継続及び採掘の技術開発を一層促進していただきたい。

また、技術開発にあたっては、地域創生の観点から中小企業育成、地域人材育成につながるものとしていただきたい。

【現状・課題等】

1 広域パイプライン整備

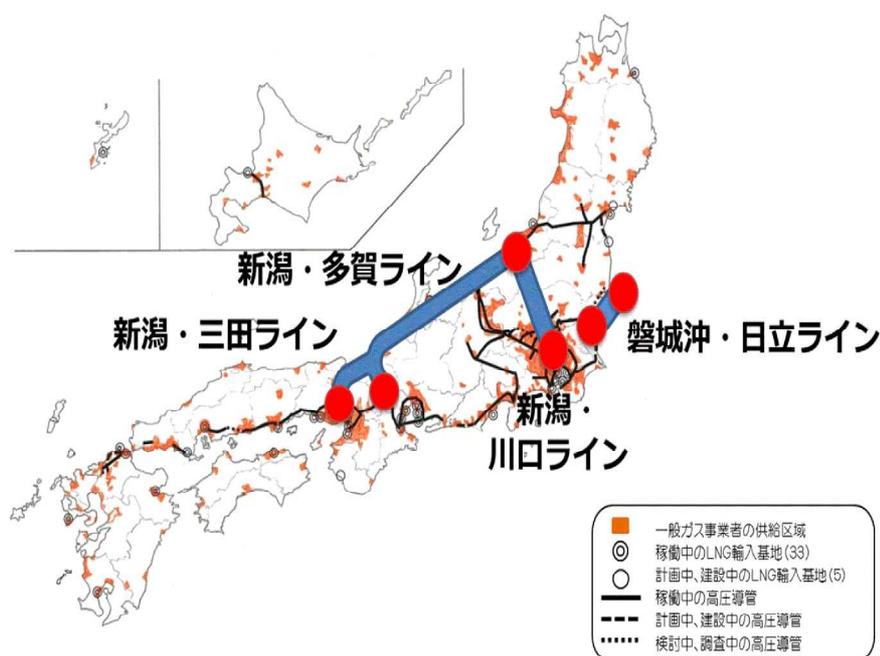
南海トラフ巨大地震等への備えや地域経済の活性化などの観点から、エネルギー供給の多重化が必要。日本海側の富山以西はガスパイプラインの空白地帯となっている。

京都府では、兵庫県と「北近畿エネルギーセキュリティ・インフラ整備研究会」を設立し、北近畿における LNG 基地や広域パイプラインの整備を検討

国では、天然ガスの利用を向上させるための観点から産業用需要エリアに係る複数のガス導管、枯渇ガス田等の地下貯蔵施設と大規模都市圏を結ぶ複数のガス導管をモデルケースとして位置づけ、これらにかかる費用便益分析を行う予定

また、LNG の需給調整機能を強化し、LNG 取引量の一層の拡大を図るべく、ガス事業者への公的支援のあり方等を検討していく。

経済産業省ガスシステム改革小委員会における費用便益分析モデルルート案



2 京都舞鶴港における LNG 受入基地の整備

京都舞鶴港は、北近畿唯一の重要港湾で、国際ふ頭等の港湾機能を有するとともに、京阪神大都市と結ぶ道路沿線には多くの工業団地があるなど相当のガス需要が見込め、北近畿での LNG 受入基地として有望

また、アラスカ州が同州産の天然ガス輸出先として有望視しており、昨年 9 月に京都府とアラスカ州において、天然ガスに関する情報を交換するため、平成 27 年 9 月に「エネルギー資源に関する覚書」を締結

京都舞鶴港～三田間のガスパイプラインルート



高速道路沿いの「ルートA」と国道・府道沿いの「ルートB」の2つのルート比較

3 資源量把握調査の継続及び採掘技術の開発

メタンハイドレートはエネルギーの安全保障及びCO₂排出量の削減の観点から重要な純国産エネルギー資源である。

国において、当初は太平洋側の砂層型メタンハイドレートの賦存量調査が行われていたが、平成25年度から開始した日本海側のメタンハイドレートの賦存量調査により、日本海側にも表層型メタンハイドレートが豊富に存在することが判明

メタンハイドレートの実用化は国としても重要な課題となっており、京都府のみならず海洋エネルギー資源開発促進日本海連合として、日沿議連エネルギー部会とも連携し、先に安倍首相にも要望

日本海側でのメタンハイドレートのサンプル調査状況



出所：平成 28 年 1 月 22 日 資源エネルギー庁発表プレスリリース

海洋エネルギー資源開発促進日本海連合の首相官邸への要望

1 日時・場所

平成 28 年 5 月 10 日 (火) 午後 1 時 45 分から 2 時 首相官邸

2 要望先

安倍 晋三 内閣総理大臣
世耕 弘成 内閣官房副長官

3 要望者

山田 啓二 京都府知事 (海洋エネルギー資源開発促進日本海連合 会長)
泉田 裕彦 新潟県知事 (同上 事務局長)
石井 隆一 富山県知事 (同上 構成県)

(同席)

日本海沿岸地帯振興促進議員連盟会長
日本海沿岸地帯振興促進議員連盟日本海エネルギー部会部会長 他

【京都府の担当課】

環境部 エネルギー政策課 075-414-4297